

福田琴月 ふくだの ことづね 小説家。明治八年七月、千二百大阪生れ。大正四年九月十二日歿（二七五—一九五）。本名喜八。筆名をむげつ、琴月生、番衆浪人、福田源太郎。大阪共立薬學校卒。藥劑師。

著書『大蛇太郎』（明治二十五年六月）、『大金港堂書籍株式會社』、『金港堂お伽噺』（、『白露堂金寫真帖』（合著、明治二十七年六月十日、筆武集。十月十日金港堂書籍株式會社）、『福笑』（明治四十年十一月十日すみや書店）、『増補縁糸賣』（明治四十一年十一月二十九日博文館）、『關ヶ原』（明治四十二年一月十日高有倫堂）、『世界博人傳』（明治四十二年七月四日實業之日本社）、『衛生と衣食住』（明治四十四年二月二十日博文館「家庭百科全書」）、『裸體の大王』（萬代花舟譯、明治四十四年三月二十五日井上一書堂「日本お伽噺」）、『源義經・九郎の巻』（番衆浪人名、大正二年二月二十二日岡部春秋堂）、『淨達政宗』（同、大正四年二月八日大日本雄辯會）、『金縁雀傳』（大正十年四月十五日大阪・井上一書堂「日本お伽噺」）等。